

**日本語教育実習生と長久手市国際交流協会日本語ボランティアが  
プロジェクト型の日本語学習支援について学ぶ研修を県立大学で開催します。**

2015年度から、愛知県立大学日本語教員課程で学ぶ日本語教育実習生は、長久手市国際交流協会日本語ボランティア教室である「日本語ではなそう！ながくてクラス」と「ウエルカムにほんご教室」で、市民のボランティアメンバーと共に日本語を教えるボランティア活動や地域の多文化共生のための活動に取り組んでいます。

昨年度は、21名の日本語教育実習生が教室でのボランティア活動を行なうのと共に、11月の長久手市一斉防災訓練では日本赤十字社愛知県支部の協力も得て、外国人住民向けのやさしい日本語による、救命講座のデモンストレーションや留学生による各国の防災情報のポスター展示などを実施しました。

2018年度は、12名の実習生がボランティア教室に参加しています。この活動の一環として、8/4(土)に、長久手市国際交流協会と県立大学日本語教員課程の共催で、ボランティア研修講座を開催します。

研修では、地域の多文化共生に資するプロジェクト型の教室活動設計方法について学ぶとともに、日本赤十字社愛知県支部が発行したテキスト(外国人向けにやさしい日本語に編集したもの、本学日本語教員課程の教員・実習生が作成協力しています)を利用した教室活動の提案と検討も行ないます。

ぜひ、取材をいただきますようよろしくお願いいたします。

日時:2018年8月4日(土)10:00~15:00 (受付9:30~)

場所:愛知県立大学長久手キャンパス B棟107教室

(長久手市茨ヶ廻間1522-3)

研修テーマ「プロジェクトをベースにした日本語教室での活動方法」

研修担当:宮谷敦美・東弘子

(外国語学部国際関係学科・日本語教員課程)

参加者:愛知県立大学日本語教育実習生

長久手市国際交流協会日本語ボランティア

日本赤十字社愛知県支部



昨年度の合同研修(2017年8月6日)



長久手市一斉防災訓練(2017年11月19日)



**■愛知県立大学日本語教員課程**

愛知県立大学日本語教員課程は、外国語学部・日本文化学部・教育福祉学部の学生が履修できる副専攻課程です。県立大学の日本語教員課程の特徴として、プロの日本語教師だけでなく、多文化共生社会における外国人住民と日本人との橋渡しの存在として活躍できる人材育成を目指している点が挙げられます。

3、4年次に行なう1年間の国内実習では、長久手市国際交流協会日本語ボランティア教室での活動をはじめ、豊田市保見団地の小中学校見学、愛知県国際交流協会での見学等を通して、地域社会における多文化共生に関連した課題の理解と、さまざまな多言語・多文化の場面で必要となるコミュニケーション能力を身につけます。

【本件に関する問い合わせ先】愛知県立大学戦略企画・広報室(藤本)

愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3 Tel:0561-76-8636

(担当教員:外国語学部国際関係学科・宮谷敦美教授)